

埋蔵文化財の活用④

生涯学習課では、遺跡発掘調査や出土品の整理・収蔵・展示などについて、多くの市民の方々に活用していただけるような取り組みを実践しています。

旧大和小学校の埋蔵文化財収蔵庫の状況

昨年12月に、埋蔵文化財の収蔵・管理の一元化を行った旧大和小学校の埋蔵文化財収蔵庫の状況についてお伝えします。

収蔵庫は2階のフロアを利用しています。かつての教室・図書室は、それぞれ収蔵庫1～4として利用しています。

収蔵庫1は、「ツベタ遺跡」の出土品など旧安田町の出土品を収蔵しています。収蔵庫2・3は「猫山遺跡」、「村下遺跡」など旧京ヶ瀬村の出土品を収蔵しています。収蔵庫4には、今年度整理作業が完了した「石船戸遺跡」の出土品が収蔵されました。

収蔵したのちは、すべての保存箱に番号を付して、写真撮影を行い、入っているものの概要を記入して、収蔵・管理台帳を作成しました。収蔵庫4の石船戸遺跡の出土品については、これから台帳づくりの作業が始まります。

昨年10月には、市民の皆さんから収蔵庫を見学していただきました。わかりやすい収蔵庫の見学ができるように、収蔵品の一部を展示しました。「ツベタ遺跡」では、火炎土器（かえんどき）の展示、「石船戸遺跡」では、乳幼児のお墓と考えられている埋設土器（まいせつどき）を展示しています。理科室は、出土した木製品の収蔵室になっていて、たくさんの井戸の曲物（まげもの）などは一見の価値があります。

このように、今後も収蔵されている埋蔵文化財を活用する工夫をしていきたいと考えています。

また、収蔵物の適切な管理を行うため、見学者の皆さんに気持ちよく見学していただけるよう、定期的に清掃を実施しています。今年度は不定期でしたが、5・8・3月に大清掃を実施しました。

